

令和元年度

第2回秋田県農山村ふるさと保全検討委員会

【資料3】

その他必要な事項

令和元年度「守りたい秋田の里地里山50」の認定について

1 推薦地域の募集

令和元年度「守りたい秋田の里地里山50」募集要領【別紙1】により、令和元年5月10日(金)から7月19日(金)まで

2 応募地域数

10市町から合計12地域(推薦)

(内訳)

I. 自薦 2地域

前山地域(北秋田市)、椒沢地域(大仙市)

II. 他薦 10地域

檜山地域(能代市)、宮ノ目地域(三種町)、金山地域(潟上市)、
中村地域(五城目町)、綱木沢地域(井川町)、東由利宿地域(由利本
荘市)、関地域(にかほ市)、京政地域(湯沢市)、板戸地域(湯沢市)、
貝沼地域(湯沢市)

3 現地の確認

○応募期間終了後(8月1日～)、担当職員による現地確認を実施。

○秋田県農山村ふるさと保全検討委員による現地調査(4地域)

10月11日 前山地域、檜山地域、宮ノ目地域、中村地域で実施【別紙2】

4 評価について

○ 募集要領に定める評価項目により、項目別に景観(10)、活動状況(20)、
PRポイント(20)合計50点満点で評価し、審議の対象は35点以上とする。
【別紙3】

5 認定について

- 募集要領により「秋田県農山村ふるさと保全検討委員会」で審議し、認定を可としたものを秋田県農林水産部長が認定する。

6 認定後のサポート等について（募集要領第6）

- 認定地域を県のホームページ等でPRし、魅力を積極的に発信することとしており、平成29年度から情報発信推進員を選定して各地域の情報をHPに掲載し、県内外にPR。
- 棚田等の保全に関する全国研修会等に、予算の範囲内で参加することができることとしており、今年度は10月13～14日に開催された全国棚田サミット（山口県長門市）に2名を派遣。（平成30年度認定：大仙市小沼地域より）
- 県内外の企業や大学等と協働で行う里地里山の保全活動等を支援することとし、平成29年度から秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業を実施。
 - ・里地里山のサポート活動支援事業（地域と里地里山サポーターとの協働活動）
＜令和元年度実施地域 6地域＞
大里地域、黒土地域、横岡地域、小沼地域、三又地域、土沢地域
 - ・里地里山の営農継承支援事業（耕作放棄地防止のための賃借料金助成）
＜令和元年度実施地域 6地域＞
阿仁戸島内地域、中台地域、横岡地域、小沼地域、岩井川地域、手倉地域
- 認定地域を対象に里地里山に対する県民の理解醸成や訪問者との交流拡大のほか、認定地域間の連携や、新たな認定を目指す地域への意欲増進などを目的として、昨年度は「守りたい秋田の里地里山50カード」を作成し、認定地域周辺の施設に配置したほか、今年度は、「守りたい秋田の里地里山50スタンプラリー」を開催した。（期間：令和元年5月1日～7月31日、応募総数：112名）

令和元年度「守りたい秋田の里地里山50」 認定推薦地域位置図

秋田県管内図

No.	地域名	所在地
38	前山	北秋田市前山
39	檜山	能代市檜山
40	宮ノ目	三種町下岩川
41	金山	湯上市飯田川金山
42	中村	五城目町馬場目
43	綱木沢	井川町寺沢
44	東由利宿	由利本荘市東由利宿
45	関	にかほ市象潟町関
46	椒沢	大仙市大沢郷宿
47	京政	湯沢市三梨町
48	板戸	湯沢市皆瀬
49	貝沼	湯沢市皆瀬

R1年度推薦地域

No.	地域名	所在地
1	小割沢	鹿角市八幡平
2	茂内屋敷	大館市雪沢
3	別所	大館市十二所
4	八木沢	上小阿仁村沖田面
5	阿仁小様	北秋田市阿仁
6	阿仁戸島内	北秋田市阿仁
7	横倉	藤里町藤琴
8	中台	八峰町峰沢水沢
9	谷地田	五城目町内川浅見内
10	黒土	五城目町内川黒土
11	帝釈寺	五城目町馬場目
12	安全寺	男鹿市北浦
13	須郷	由利本荘市東由利
14	横岡	にかほ市象潟町
15	余目	大仙市内小友
16	七滝	美郷町六郷東根
17	三又	横手市山内
18	狼半内	横手市増田町
19	塚須沢	横手市大森町
20	中ノ台	湯沢市皆瀬
21	土沢	湯沢市山田
22	落合	羽後町軽井沢
23	岩井川	東成瀬村岩井川
24	手倉	東成瀬村榑川
25	水沢	鹿角市八幡平
26	大地	小坂町大地
27	萱ヶ沢	秋田市雄和
28	長坂	由利本荘市長坂
29	滝	由利本荘市滝
30	中飯沢	羽後町飯沢
31	大里	鹿角市八幡平
32	大葛	大館市比内町
33	坂之下	由利本荘市矢島町
34	小沼	大仙市豊岡
35	大沢	横手市雄物川町

● H27年度認定地域
● H28年度認定地域
● H29年度認定地域
● H30年度認定地域

■令和元年度「守りたい秋田の里地里山50」認定推薦地域 写真(全景)

(1/3)

①前山地域(北秋田市前山)



③宮ノ目地域(三種町下岩川)



②檜山地域(能代市檜山)



④金山地域(潟上市飯田川)



■令和元年度「守りたい秋田の里地里山50」認定推薦地域 写真(全景)

(2/3)

⑤中村地域(五城目町馬場目)



⑦東由利宿地域(由利本荘市東由利宿)



⑥綱木沢地域(井川町寺沢)



⑧関地域(にかほ市象潟町)



⑨椒沢地域(大仙市大沢郷宿)



⑪板戸地域(湯沢市皆瀬)



⑩京政地域(湯沢市三梨)



⑫貝沼地域(湯沢市皆瀬)



令和元年度「守りたい秋田の里地里山50」募集要領

第1 趣 旨

急傾斜地に広がる棚田などの農地は、これまで、地域の先人たちの絶え間ない努力によって保全されてきましたが、急峻・狭小であるなど、地形上、厳しい生産条件の下に置かれているほか、近年の過疎化、高齢化の進行により、維持管理が困難な状況に直面しており、その荒廃が懸念されています。

一方、これらの農地は、冷涼な気候などを活かした多彩な作物の生産地域であるとともに、急峻な地形を巧みに利用した営農の継続を通じて、下流地域での洪水発生抑止や地下水涵養など、単に生産基盤にとどまらない多様な公益的機能を担っていることが再認識されており、県内においても多くの地域で、地域住民が主体となった保全活動が続けられています。

こうしたことから、農山村地域の農地が有する公益的機能を県民共有の財産として次世代に引き継ぐため、地域住民が主体となって優れた景観を維持管理していることに加え、自然・文化・歴史・人など多様な地域資源を活用し、環境・交流活動にも取り組んでいる地域を、「守りたい秋田の里地里山50」として募集します。

県では、認定された地域で取り組まれている活動を優良事例として紹介し、農地の維持・保全の取組に関する普及啓発を行うとともに、その魅力を積極的に発信することによって、これらの農地の維持活動を通じた交流拡大のための取組や、県内外の企業や大学等と協働で行う里地里山の保全活動等を支援することとしています。

なお、「50」は、住民による主体的な保全活動や環境・交流活動に取り組む地域が将来的に県内で50か所以上となるよう目標数値として掲げたものです。

第2 対象地域について

対象とする地域は、次の項目を満たす箇所とします。

- 1 地形勾配が概ね1／20以上の急峻な水田を含み、営農が一体的な1 ha以上の広がりがあり、維持管理が行き届いていること。
- 2 地域住民が参加する景観・環境を保全する活動や、地域資源を活かした交流活動などに取り組んでいるか、または予定していること。
- 3 1及び2に準じる地域として当該市町村長が特に認める地域。

第3 応募対象者

- 1 地域住民（自治会等の地元組織）による応募（自薦）
- 2 市町村による応募（他薦）

第4 応募方法

1 地域住民による応募の場合（自薦）

- （1）募集期間内に、市町村にお申し出ください。
- （2）申し出を受けた市町村は、内容を精査のうえ、推薦調書（別紙1）を作成して別記様式第1号により所管する地域振興局長を経由し、秋田県農林水産部長に提出してください。

2 市町村による応募の場合（他薦）

募集期間内に、推薦調書（別紙1）を作成して別記様式第2号により、所管する地域振興局長を経由して秋田県農林水産部長に提出してください。

なお、この場合は、地域住民（自治会等地元組織）から、推薦について事前に必ず了承を得てください。

第5 対象地域の確認および認定方法

1 確認方法

第4により推薦された地域については、推薦調書（別紙1）に基づき、地域の状況や特色等について県が現地を確認します。

2 認定方法

- （1）県の第三者委員会である「秋田県農山村ふるさと保全検討委員会」で審議し、秋田県農林水産部長が認定します。
- （2）評価する項目については、別紙2によるものとします。

第6 認定された地域に対する支援

1 認定地域の魅力を毎年度、継続的に県で積極的に情報発信するとともに、様々な啓発・普及を図ります。

○県ホームページにおいて、新たな認定地域を含めた地域の魅力や現状、地域で行う保全・交流活動等を紹介します。

○首都圏でのプロモーション活動により、認定地域を広くPRします。

○「美しく豊かな農村づくり 写真コンクール」（主催：秋田県土地改良事業団体連合会）の対象地域になります。

○「守りたい秋田の里地里山50カード」を県で製作します。なお、製作したカードは地域内の公共施設等に設置し、地域への来訪者を呼び込む等、PRを図ります。

○県で認定地域のランドマークとして標柱を製作し、地域に贈呈します。

2 棚田等の保全に関する全国研修会「全国棚田サミット」等に、予算の範囲内で参加することができます。

- 3 農林水産部農山村振興課が所管する基金（秋田県中山間地域土地改良施設等保全基金）を活用した事業を優先的に進めていきます。

①魅力ある秋田の里作り総合支援事業

地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を育成するため、計画策定から拠点整備、実践活動までを総合的に支援。

②秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業

「守りたい秋田の里地里山50」認定地域における、県内外の企業や大学等と協働で行う里地里山の保全・交流活動等を支援します。また、農地中間管理機構等から新たに地域内の農地を借り受ける場合に、借受者に対し支援します。

- 4 県の「元気な中山間農業応援事業」の対象地域となり、地域が有する地域資源等を活用した農業プラン「地域資源活用プラン」を策定することにより、プランの実現に向けた、水田の畑地化に必要な基盤整備等のハード支援や、地域特産物等の生産体制の強化、6次産業化の取り組みに必要な機械等の導入などのソフト支援を行います。

第7 応募期間及び今後のスケジュール

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1 応募期間 | 令和元年5月10日（金）～令和元年7月19日（金） |
| 2 現地確認 | 令和元年8月（予定） |
| 3 選定地域の決定 | 令和元年9月（予定） |

附 則 本要領は令和元年5月10日から施行する。

令和元年度「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

1 棚田等の概要

市町村名				
地域の所在地				
棚田等の名称				
地域条件の 適否	対 象 地 域 要 件			適否
	地形勾配が概ね1/20以上の急峻な水田を含み、営農が一体的な1ha以上の広がりがあり、維持管理が行き届いている地域。			
	地域住民が参加する景観・環境を保全する活動や、地域資源を活かした交流活動などに取り組んでいるか、または予定している地域。			
	上記に準じる地域として当該市町村長が特に認める地域			
棚田等の状況	総 面 積	ha	棚田等の枚数	枚
	作付面積	ha	標高	～ m
	休耕面積	ha	傾斜	1 / ○○
	耕作放棄面積	ha		
○地域内に土地改良区区域がある場合 【関係土地改良区名】 ○地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合 【関係組織名】 《地域の棚田等を紹介する写真を添付》				

2 推薦の理由

3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

4 地域が取り組んでいる環境保全・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

担当連絡先	所属	組織名、市町村名（部、課、係、班等）
	職名・氏名	職名： 氏名：
	電話番号	

【その他添付資料】

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付

※募集要領第4の2（市町村による応募）の場合においては、応募にあたり調整した地域住民（自治会や維持管理組織等）の氏名又は組織名、連絡先等について記載した資料を提出すること。（様式任意。組織の場合は代表者名も記入すること。）

(別紙2)

選定地域の評価項目

項 目	評価ポイント
景 観	地域住民の維持管理による優れた景観を有していること。 ・昔ながらの棚田の景観を保っているもの（不整形田） ・基盤整備されたが、整備後の直線的な美しさ等を有しているもの ・手入れが行き届き美しいもの ・周囲の山や家屋のたたずまいと調和し、いわゆる日本的な風景を感じさせるもの などを評価
地域住民 の活動状況	地域住民が参加する景観・環境を保全する活動や、地域資源を活かした交流活動などに取り組んでいる地域、または予定している地域であること。
P R ポイント (加点)	歴史を有する点や、伝統文化の継承に関する点など幅広く評価できること。 ・歴史を有するもの ・伝統文化の保存に関係しているもの ・特色ある地域資源を有するもの ・地域ぐるみの保全活動を展開しているもの ・地域の人々の暮らしの支えとなっているもの ・他地域にないような農地の景観を有するもの などの項目を評価

令和元年度秋田県農山村ふるさと保全検討委員会（現地調査）について

○調査実施日

令和元年10月11日（金）

○調査員

秋田県農山村ふるさと保全検討委員会員 3名（伊藤委員、長濱委員、山本委員）

県農山村振興課 5名（高野農林水産部参事（兼）農山村振興課長 他4名）

○各地域における質疑応答（※代表的な質疑応答を記載）

（Ⅰ）前山地域 ＜所在地：北秋田市前山＞

Q 1. 雑穀米の栽培方法やスケジュールは？また、収量はどれくらいで連作障害等はないのか？

A 1. 品種にもよるが、5月には全品種の作付けを終わらせ今時期に収穫している。

※収穫量及び栽培方法、連作障害について（後日回答）

＜地元農家へ確認＞

反収は各品門同様に100～200kg/10aとなる。連作障害もあるため、毎年品目毎に場所を変えながら栽培している。

Q 2. 地域で組織する「前山元気村」の構成員は？また、イベントにはどれくらいの参加者がいるのか？

A 2. 地域自治会員が構成員となっており、地域の小学生（4～5人）も含め30人程度の参加者がいる。



（前山地域での現地調査状況）

(Ⅱ) 檜山地域 <所在地：能代市檜山>

Q 1. 地域の主な耕作者は誰になるのか？また作目は？

A 1. 農業法人「アグリ檜山」が全面積を耕作しており、大豆を主としてネギやリンドウの栽培も行っている。アグリ檜山の代表は、近傍の小学校の農業体験も受け入れているなど、地域交流も行っている。

Q 2. まちづくり協議会が組織化されているが、構成組織や員数、活動資金等については？

A 2. 協議会は構成員 333 戸及び複数の部会（多面的組織・アグリ檜山・自治会・婦人会等）で構成されている。活動資金としては、能代市からの補助金がメイン



(檜山地域での現地調査状況)

(Ⅲ) 宮ノ目地域 <所在地：三種町下岩川>

Q 1. 高い田差がある場所や区画が小さいところも散見されるが、基盤整備は実施していない地域なのか？

A 1. 基盤整備済みの地域である。但し、勾配がある区域については、極力、現況に合わせた工事（著しい基盤土の切盛を避けた）を行ったため、部分的にそのような場所が生じている。

Q 2. 岩川水系米の定義や栽培基準等はあるのか？また収穫量や価格はどれくらいか？

A 2. 上岩川地域及び下岩川地域で栽培する米としている。栽培基準として、低農薬や堆肥による土づくりなどを設定している。

※収穫量及び価格について（後日回答）

<JAへ確認>

収穫量 約 687ton、

販売額 ①ネット・電話注文の場合 8,800 円 (30kg/袋 玄米)

②直売所での販売の場合 9,400 円 (30kg/袋 玄米)



(宮ノ目地域での現地調査状況)

(Ⅳ). 中村地域 <所在地：五城目町馬場目>

Q 1. 地域の主な栽培作物は？また、経営体は？

A 1. 個人担い手農家による水稲作付けが主である。

Q 2. 地域の水源は？地域境を確認したい。

A 2. 下流域に隣接する馬場目川より揚水している。地域東側は隣集落の寺庭集落の農地と隣接しているが、田差が生じているラインが本地域の境目となっている。



(中村地域での現地調査状況)

別紙3 （1／2）

令和元年度 推薦地域評価一覧（案）

項 目		配 点		前山地域 （北秋田市前山）		檜山地域 （能代市檜山）		宮ノ目地域 （三種町下岩川）		金山地域 （湯上市飯田川）		中村地域 （五城目町馬場目）	
景 観		非常に優れている	10	地域では水稻のほか、雑穀米として「アマランサス」や「タカキビ」等を栽培しており、他地域にはない特色有る農業を展開している。		沢筋に伸びる一団の団地で、基盤整備済みであるものの、傾斜との調和が図られたり、景観が美しい。		山と川に囲まれた自然豊かな本地域は、基盤整備された整形の畦畔ラインと一面の田園風景が調和しており美しい。地域により適正に管理され休耕・耕作地の発生はないことから、景観の評価は「優れている」。		急峻で狭隘な条件不利農地を抱えながらも営農が継承されている。傾斜が著しい地域の上流部においては、適正に維持管理された美しい棚田風景を眺望できる。休耕農地は若干あるものの殆どが耕作されており、景観の評価は「優れている」。		薬師山と馬場目川に囲まれた自然豊かな地域であり、基盤整備済みであるものの、整った美しい階段状の田園風景は来訪者を魅了している。広範囲であるが、休耕・放棄地は一切なく、景観の評価は「非常に優れている」。	
		優れている	7	5 / 10		7 / 10		7 / 10		7 / 10		10 / 10	
		普通	5										
地域住民 の 活動状況	(1) 参加人数	集落の半数以上が参加	10	本地域は、日本型直接支払制度（多面的）の活動組織「前山地区資源保全会」の区域（一部区域外）に含まれている。		日本型直接支払制度の活動組織「羽州いなほ会広域活動組織（多面的）」の区域（一部区域外）に含まれている。		本地域は、日本型直接支払制度（中山間）の活動組織「宮ノ目集落協定」の区域である。		本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「金山集落協定（中山間）」及び「金山農友会（多面的）」の区域（一部区域外）である。		本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「中村家ノ前集落協定（中山間）」及び「中村いずみ会（多面的）」の区域（一部区域外）である。	
		集落の3割以上が参加	7	10 / 10		10 / 10		10 / 10		10 / 10		10 / 10	
		その他（3割未満）	5										
	(2) 継続年数	5年以上	10	平成19年から農地・水・環境保全向上対策制度に取り組み、現在は多面的機能支払交付金より活動が続けている。		平成26年から多面的機能支払交付金による活動が続けている。		平成12年より中山間地域等直接支払交付金を活用し活動を続けていけている。		平成17年より中山間地域等直接支払交付金、平成26年より多面的機能支払交付金による活動が続けている。		平成18年より中山間地域等直接支払交付金を活用し活動を続けている。	
		3年以上	7	10 / 10		10 / 10		10 / 10		10 / 10		10 / 10	
		その他	5										
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点	15 / 20		集落で組織する「前山元気村」では、子供達を集めての各種交流イベントを開催し地域の活性化に努めている。		農事組合法人「アグリ檜山（代表の山崎氏は秋田県認定のふるさと水と土指導員。活動組織代表。）」では、毎年近傍の小学校と継続的に交流を図っており、田植え・稲刈り、大豆の収穫など農業体験による学習の場にもなっている。		本地域を含む下岩川地域全体で行う「盆踊り」が実施されており、近隣集落との交流が生まれるなど、地域活性化の一助となっている。		地域の磯前神社では、毎年5月と11月に豊作祈願を行うなど、伝統と文化を絶やさず守り続けている。		9世紀半ばに天台僧により開設されたとされる「安養寺」は現在は廃寺されているものの、修行僧が残した石像「薬師如来」は町指定有形文化財とされており、地域で大切に保全している。	
				地域で栽培する雑穀米は5種類（アマランサス、ヒエ、アワ、キビ、タカキビ）と多種に渡り、全国的にも珍しい地域である。		地域では、まちづくり協議会が設立されており、「なつと祭り」や「檜山桜祭り」など、多種多彩な交流イベントを企画し、地域の活性化を図っている。		地域産米を良質な水と厳しい品質管理により栽培するブランド米「岩川水系米」を栽培・販売するなど、地域特産物としてPRしている。		地域には新規就農支援事業交付金を活用し、小菊やトルコギョウ等の花卉のハウス栽培を行う農業者もあり、新たな地域農業の展開を図っている。		貴重な地域資源として、集落東部に樹齢500年以上、樹高20m余りのいちようの木が立ち、地域住民による適正な保全管理がされている。	
				新たな取り組みとして「卵油」等の製造も行っており、比内地鶏の飼育を始める農家もいる。		地域では歴史の里づくりに力を入れており、檜山城をはじめとした数々の史跡を巡る「のしろ檜山周辺歴史ガイド」が人気となっている。		地域の重要な交通網である県道や町道では、日本型直接支払制度（中山間）による向日葵やコスモス等の植栽の他、クリーンアップを地域一体で行うなど、地域環境の保全にも努めている。		日本型直接支払交付金による農地維持や花壇づくり等による活動のほか、地域では料理教室を通じた住民同士の交流活動も行われている。			
						京都にゆかりを持ち、栽培の北限とされる「檜山茶」の保全機運の高まりを受け、檜山茶保全会が発足するなど、能代市と一体になった活動を行っている。							
計			40 / 50	47 / 50	42 / 50	42 / 50	40 / 50						

綱木沢地域 (井川町寺沢)		東由利宿地域 (由利本荘市東由利宿)		関地域 (にかほ市象潟町)		椒沢地域 (大仙市大沢郷宿)		京政地域 (湯沢市三梨)		板戸地域 (湯沢市皆瀬)		貝沼地域 (湯沢市皆瀬)	
5 / 10	丘陵地に開けた地域であるが、適正に維持管理された景色が眺望できるほか、ブルーベリーをはじめとした、特色有る農業を展開している。一時的ではあるが休耕農地がみられることから、景観の評価は「普通」。	10 / 10	急峻で狭隘な農地を多く有する地域であるが、営農を継承し農地環境の保全に取り組んでいる。高館山から眺む棚田の景色は鳥海山や夕日、雲海等が織りなす様々な景色を楽しむことができる。若干の休耕農地がみられるものの、景観の評価は「非常に優れている」。	7 / 10	南東に鳥海山、西に日本海が背景となる棚田の景色が雄大である。地域の適切な維持管理や営農の継承も景色を一層際立たせている。夕映えの景色は棚田とのコントラストが特に美観である。しかしながら、休耕農地がみられることから、景観の評価は「優れている」。	5 / 10	急峻で狭隘な沢筋と開けた緩傾斜の農地で設定される地域であるが、地域による適正な維持管理が行き届いており、美しい田園風景が眺望できる。休耕・放棄地の発生はないもの、緩傾斜区域が多いことから、景観の評価は「優れている」。	7 / 10	雄長子内岳と皆瀬川に囲まれた自然豊かな地域であるが、地域による適正な維持管理が行き届いており、美しい景観が眺望できる。休耕・放棄地の発生はなく、景観の評価は「優れている」。	10 / 10	皆瀬側上流部に沿って開けた丘陵地に位置する地域であり、整備済みであるもの急峻な傾斜と整った畦畔のラインが調和し景観が美しい。地域住民により適正に維持管理され休耕・放棄地の発生はなく、景観の評価は「非常に優れている」。	10 / 10	皆瀬川を由来とする河岸段丘により耕地が急傾斜となっている地域であるが、適正な維持管理と耕作の継承により美しい景観を有している。休耕・放棄地の発生はなく、景観の評価は「優非常にれている」。
5 / 10	ことぶきベリー園関係者3名と個人農家1名を含む4名により維持管理を実施している。	5 / 10	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「宿集落協定、ザラメキ集落協定(中山間)」及び「宿環境保全活動向上組織、ザラメキ農地保全会、夏川原環境保全組合(多面的)」の区域である。 参加者は、集落の3割未満(約22%)と少数であるが、農地の維持と管理を参加者一体となって、継続している。	10 / 10	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「関集落協定(中山間)」及び「関地区農地・水保全会(多面的)」の区域である。 集落の半数以上(約57%)が参加して農地の維持保全を行っている。	7 / 10	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「椒沢環境保全会(多面的)」の区域である。 集落の3割以上(約33%)が参加し、農地の維持保全を行っている。	10 / 10	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「京政集落協定(中山間)(多面的)」の区域である。 集落の半数以上(約64%)が参加し農地の維持保全を行っている。	10 / 10	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「板戸集落協定(中山間)(多面的)」の区域である。 集落の半数以上(約61%)が参加し農地の維持保全を行っている。	10 / 10	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「貝沼集落協定(中山間)(多面的)」の区域である。 集落の半数以上(約90%)が参加し農地の維持保全を行っている。
10 / 10	平成20年度に3名の集落の農家が協力し合い「ことぶきベリー園」を設立し、農地の維持管理も行っている。	10 / 10	平成12年より中山間地域等直接支払交付金(2組織)、平成26年より多面的機能支払交付金(3組織)による活動を続けている。	10 / 10	平成13年から中山間地域等直接支払交付金、平成26年から多面的機能支払交付金による活動を続けている。	10 / 10	平成19年より農地・水・環境保全対策制度に取り組み、現在は多面的機能支払交付金による活動を続けている。	10 / 10	平成18年から中山間地域等直接支払交付金、平成28年から多面的機能支払交付金による活動を続けている。	10 / 10	平成12年から中山間地域等直接支払交付金による活動を続けている。	10 / 10	平成12年から中山間地域等直接支払交付金、平成27年から多面的機能支払交付金による活動を続けている。
20 / 20	畑作が中心であり、夏かぼちゃやブルーベリー、ブラックベリー、こはぜ等を栽培しており、他との差別化を図った新たな地域農業の展開を図っている。	15 / 20	地域を横断する国道107号線沿いの石沢川には、毎年5月に地元保育園児や学童保育園児と交流し、100歳の鯉のぼりを設置しており、大切な地域行事となっている。	15 / 20	毎年元旦に行われる豊作占い「酒飲み占い」や6月に諏訪神社の祭礼として行う作況占い【作占い】など、地域行事を継承している。	20 / 20	地域では大仙市の無形民俗文化財「椒沢番楽」を継承しており、毎年8月には豊作を祈願している。	15 / 20	地域を貫流する与惣右門堰(農業用水路)は、地域農業に恩恵を与えている。また、歴史ある水路であり、岩盤開削など幾多の試練を乗り越え、延長約9km、11年の歳月を経て完成したとされており、地域の大事な資源として歴史の伝承を含め保全している。	10 / 20	地域では湯沢市の無形民俗文化財「板戸番楽」を継承しており、毎年8月には豊作を祈願している。	15 / 20	集落の名称ともなった「貝沼」(ため池)は、古くから生活用水や農業用水など、貴重な地域の宝として、現在も大切に守り継がれている。
	「ことぶきベリー園」では、ブルーベリー等の栽培だけではなく、加工・販売等の六次産業化にも取り組んでおり、オリジナル商品を開発しブランド化も図っている。		豊作祈願として毎年8月に行われている地域の伝統行事「初餅」は、輪番制で餅をつき全戸に豊作祈願として配布しており、絶やすことなく継承している。		平成の名水百選「元滝伏流水」や桜の名所「栗山地公園」など、市内でも有数の観光資源を有する。		地域には新規就農研修施設の研修後に、スキルを活かした花卉(花火ダリア)の栽培を行う農業者もおり、新たな地域農業の展開を図っている。		地域では地元小学校や稲川土地改良区と連携した、小学生との農業体験や与惣右門堰の学習会も行っているなど、地域交流も図っている。		地域住民から信仰を集める奥宮山は、参拝者のほか登山者も多く訪れるなど人気の登山場となっている。 奥宮山山頂からの景色は雄大である。		貝沼は、ヘラブナやこいの釣り場として親しまれており多くの釣り人に人気を博している。過去には横手市出身の漫画家である矢口高雄氏の代表作「釣キチ三平」でも掲載されている。
	ことぶきベリー園では毎年、地元の園児とともに「苗木植え付け体験」や「摘み取り体験」を実施するなど、農業体験を通じた交流を図っている。		地域による田植えや稲刈り、ハサガけ等の農業体験が行われており、学習の場として交流も図っている。		地域を流れる「奈曾川」河りでは、毎年小学生による鮭の稚魚放流が行われるなど、交流を図っている。		地域では、稲刈り後に昔ながらの稲架掛けを継承しており、稲わらは家畜の敷藁として使われる他、「刈和野の大綱引き」の綱の材料にも使用されている。		地域の「高壇稲荷神社」では豊作祈願のために祭典を行い、集落の子供達と恵比寿俵を奉納するなど、伝統文化の保全・継承を図っているいる。				平成24年9月のゆざわジオパークの誕生に伴い、ジオポイントの一つとして貝沼が選定されるなど、多面的に注目を集めている。
40 / 50	地域産野菜は地元の学校給食への食材提供や近隣の洋菓子店に出荷したりと、地産地消に貢献している。	40 / 50		42 / 50		42 / 50	地域では、県事業「魅力ある里づくりモデル事業」の採択を受け、体験農園や里山の整備、椒沢番楽の新規参入者の受け入れ支援などを実施することとしており、地域のPRと交流人口の拡大を図る取組が期待できる。	42 / 50		40 / 50		45 / 50	

No. 38		前山		北秋田市前山		評価（案）	
項 目		配 点		評価点	評価ポイント	写真	
景 観		非常に優れている	10点	5点	地域では水稲のほか、雑穀米として「アマランサス」や「タカキビ」等を栽培しており、他地域にはない特色有る農業を展開している。 開花時には美しい景色が広がるが、一時的ではあるものの、休耕農地がみられることから、景観の評価は「普通」。		
		優れている	7点				
		普通	5点				
地域住民 の 活動状況	(1) 活動の 参加 人数	集落の半数以上が参加	10点	10点	本地域は、日本型直接支払制度（多面的）の活動組織「前山地区資源保全会」の区域（一部区域外）に含まれている。 集落の半数以上（約97%）が参加し農地の維持保全を行っている。		
		集落の3割以上が参加	7点				
		その他（3割未満）	5点				
	(2) 活動の 継続 年数	5年以上	10点	10点	平成19年から農地・水・環境保全向上対策制度に取り組み、現在は多面的機能支払交付金による活動を続けている。		
		3年以上	7点				
		その他	5点				
P R ポイント		1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点		15点	集落で組織する「前山元気村」では、子供達を集めての各種交流イベントを開催し地域の活性化に努めている。		
					地域で栽培する雑穀米は5種類（アマランサス、ヒエ、アワ、キビ、タカキビ）と多種に渡り、全国的にも珍しい地域である。	 アマランサス  タカキビ	
					新たな取り組みとして「卵油」等の製造も行っており、比内地鶏の飼育を始める農家もいる。		
計				40点			

項 目		配 点	評価点	評価ポイント	写真
景 観		非常に優れている	10点	7点	
		優れている	7点		
		普通	5点		
地域住民 の 活動状況	(1) 活動 の 参加 人数	集落の半数以上が参加	10点	10点	
		集落の3割以上が参加	7点		
		その他（3割未満）	5点		
	(2) 活動 の 継続 年数	5年以上	10点	10点	
		3年以上	7点		
		その他	5点		
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点		20点	農事組合法人「アグリ檜山（代表の山崎氏は秋田県認定のふるさと水と土指導員。活動組織代表。）」では、毎年近傍の小学校と継続的に交流を図っており、田植え・稲刈り、大豆の収穫など農業体験による学習の場にもなっている。	
				地域では、まちづくり協議会が設立されており、「なっとう祭り」や「檜山桜祭り」など、多種多彩な交流イベントを企画し、地域の活性化を図っている。	
				地域では歴史の里づくりに力を入れており、檜山城をはじめとした数々の史跡を巡る「のしろ檜山周辺歴史ガイド」が人気となっている。	
				京都にゆかりを持ち、栽培の北限とされる「檜山茶」の保全機運の高まりを受け、檜山茶保全会が発足するなど、能代市と一体になった活動を行っている。	
計			47点		

No. 40		宮ノ目		三種町下岩川		評価（案）	
項 目		配 点		評価点	評価ポイント	写真	
景 観		非常に優れている	10点	7点	山と川に囲まれた自然豊かな本地域は、基盤整備された整形の畦畔ラインと一面の田園風景が調和しており美しい。地域により適正に管理され休耕・耕作地の発生はないことから、景観の評価は「優れている」。		
		優れている	7点				
		普通	5点				
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数	集落の半数以上が参加	10点	10点	本地域は、日本型直接支払制度（中山間）の活動組織「宮ノ目集落協定」の区域である。 集落の半数以上（約65%）が参加し農地の維持保全を行っている。		
		集落の3割以上が参加	7点				
		その他（3割未満）	5点				
	(2) 活動の継続年数	5年以上	10点	10点	平成12年より中山間地域等直接支払交付金を活用し活動が続いている。		
		3年以上	7点				
		その他	5点				
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点		15点	本地域を含む下岩川地域全体で行う「盆踊り」が実施されており、近隣集落との交流が生まれるなど、地域活性化の一助となっている。			
				地域産米を良質な水と厳しい品質管理により栽培するブランド米「岩川水系米」を栽培・販売するなど、地域特産物としてPRしている。			
				地域の重要な交通網である県道や町道では、日本型直接支払制度（中山間）による向日葵やコスモス等の植栽の他、クリーンアップを地域一体で行うなど、地域環境の保全にも努めている。			
計				42点			

No. 41		金山		湯上市飯田川		評価（案）	
項 目		配 点		評価点	評価ポイント	写真	
景 観		非常に優れている	10点	7点	急峻で狭隘な条件不利農地を抱えながらも営農が継承されている。傾斜が著しい地域の上流部においては、適正に維持管理された美しい棚田風景を眺望できる。休耕農地は若干あるものの殆どが耕作されており。景観の評価は「優れている」。		
		優れている	7点				
		普通	5点				
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数	集落の半数以上が参加	10点	10点	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「金山集落協定（中山間）」及び「金山農友会（多面的）」の区域（一部区域外）である。 集落の半数以上（約50%）が参加し農地の維持保全を行っている。		
		集落の3割以上が参加	7点				
		その他（3割未満）	5点				
	(2) 活動の継続年数	5年以上	10点	10点	平成17年より中山間地域等直接支払交付金、平成26年より多面的機能支払交付金による活動を続けている。		
		3年以上	7点				
		その他	5点				
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点		15点	15点	地域の磯前神社では、毎年5月と11月に豊作祈願を行うなど、伝統と文化を絶やさず守り続けている。		
					地域には新規就農支援事業交付金を活用し、小菊やトルコキョウ等の花卉のハウス栽培を行う農業者もあり、新たな地域農業の展開を図っている。		
					日本型直接支払交付金による農地維持や花壇づくり等による活動のほか、地域では料理教室を通じた住民同士の交流活動も行われている。		
計				42点			

No. 42		中村		五城目町馬場目		評価（案）	
項 目		配 点		評価点	評価ポイント	写真	
景 観		非常に優れている	10点	10点	薬師山と馬場目川に囲まれた自然豊かな地域であり、基盤整備済みであるものの、整った美しい階段状の田園風景は来訪者を魅了している。 広範囲であるが、休耕・放棄地は一切なく、景観の評価は「非常に優れている」。		
		優れている	7点				
		普通	5点				
地域住民 の 活動状況	(1) 活動 の 参加 人数	集落の半数以上が参加	10点	10点	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「中村家ノ前集落協定（中山間）」及び「中村いずみ会（多面的）」の区域（一部区域外）である。 集落の半数以上（約53%）が参加し農地の維持保全を行っている。		
		集落の3割以上が参加	7点				
		その他（3割未満）	5点				
	(2) 活動 の 継続 年数	5年以上	10点	10点	平成18年より中山間地域等直接支払交付金を活用し活動が続けている。また同年に中村いずみ会（多面的）を設立。翌19年より農地・水・環境保全対策制度に取り組み、現在は多面的機能支払交付金よる活動も続いている。		
		3年以上	7点				
		その他	5点				
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点	10点	9世紀半ばに天台僧により開設されたとされる「安養寺」は現在は廃寺されているものの、修行僧が残した石像「薬師如来」は町指定有形文化財とされており、地域で大切に保全している。				
			貴重な地域資源として、集落東部に樹齢500年以上、樹高20m余りのいちろうの木が立ち、地域住民による適正な保全管理がされている。				
計				40点			

No. 43		網木沢		井川町寺沢		評価（案）	
項 目		配 点		評価点	評価ポイント	写真	
景 観		非常に優れている	10点	5点	丘陵地に開けた地域であるが、適正に維持管理された景色が眺望できるほか、ブルーベリーをはじめとした、特色有る農業を展開している。一時的ではあるが休耕農地がみられることから、景観の評価は「普通」。		
		優れている	7点				
		普通	5点				
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数	集落の半数以上が参加	10点	5点	ことぶきベリー園関係者3名と個人農家1名を含む4名により維持管理を実施している。		
		集落の3割以上が参加	7点				
		その他（3割未満）	5点				
	(2) 活動の継続年数	5年以上	10点	10点	平成20年度に3名の集落の農家が協力し合い「ことぶきベリー園」を設立し、農地の維持管理も行っている。		
		3年以上	7点				
		その他	5点				
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点		20点	畑作が中心であり、夏かぼちゃやブルーベリー、ブラックベリー、こはぜ等を栽培しており、他との差別化を図った新たな地域農業の展開を図っている。			
				「ことぶきベリー園」では、ブルーベリー等の栽培だけではなく、加工・販売等の六次産業化にも取り組んでおり、オリジナル商品を開発しブランド化も図っている。			
				ことぶきベリー園では毎年、地元の園児とともに「苗木植え付け体験」や「摘み取り体験」を実施するなど、農業体験を通じた交流を図っている。			
				地域産野菜は地元の学校給食への食材提供や近隣の洋菓子店に出荷したりと、地産地消に貢献している。	(写真なし)		
計				40点			

No. 44		東由利宿		由利本荘市東由利宿		評価（案）	
項 目		配 点		評価点	評価ポイント	写真	
景 観		非常に優れている	10点	10点	急峻で狭隘な農地を多く有する地域であるが、営農を継承し農地環境の保全に取り組んでいる。高館山から眺む棚田の景色は鳥海山や夕日、雲海等が織りなす様々な景色を楽しむことができる。若干の休耕農地がみられるものの、景観の評価は「非常に優れている」。		
		優れている	7点				
		普通	5点				
地域住民の活動状況	(1)	集落の半数以上が参加	10点	5点	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「宿集落協定、ザラメキ集落協定（中山間）」及び「宿環境保全活動向上組織、ザラメキ農地保全会、夏川原環境保全組合（多面的）」の区域である。 参加者は、集落の3割未満（約22%）と少数であるが、農地の維持と管理を参加者一体となって、継続している。		
		集落の3割以上が参加	7点				
		その他（3割未満）	5点				
	(2)	5年以上	10点	10点	平成12年より中山間地域等直接支払交付金(2組織)、平成26年より多面的機能支払交付金(3組織)による活動を続けている。		
		3年以上	7点				
		その他	5点				
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点		15点	地域を横断する国道107号線沿いの石沢川には、毎年5月に地元保育園児や学童保育園児と交流し、100旗もの鯉のぼりを設置しており、大切な地域行事となっている。			
				豊作祈願として毎年8月に行われている地域の伝統行事「初餅」は、輪番制で餅をつき全戸に豊作祈願として配布しており、絶やすことなく継承している。			
				地域による田植えや稲刈り、ハサガけ等の農業体験が行われており、学習の場として交流も図っている。			
計			40点				

No. 45		関		にかほ市象潟町		評価（案）	
項 目		配 点		評価点	評価ポイント	写真	
景 観		非常に優れている	10点	7点	南東に鳥海山、西に日本海が背景となる棚田の景色が雄大である。地域の適切な維持管理や営農の継承も景色を一層際立たせている。夕映えの景色は棚田とのコントラストが特に美観である。しかしながら、休耕農地がみられることから、景観の評価は「優れている」。		
		優れている	7点				
		普通	5点				
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数	集落の半数以上が参加	10点	10点	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「関集落協定（中山間）」及び「関地区農地・水保全会（多面的）」の区域である。 集落の半数以上（約57%）が参加して農地の維持保全を行っている。		
		集落の3割以上が参加	7点				
		その他（3割未満）	5点				
	(2) 活動の継続年数	5年以上	10点	10点	平成13年から中山間地域等直接支払交付金、平成26年から多面的機能支払交付金による活動を続けている。		
		3年以上	7点				
		その他	5点				
P R ポイント		1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点		15点	毎年元旦に行われる豊作占い「酒飲み占い」や6月に諏訪神社の祭礼として行う作況占い【作占い】など、地域行事を継承している。		
					平成の名水百選「元滝伏流水」や桜の名所「栗山池公園」など、市内でも有数の観光資源を有する。		
					地域を流れる「奈曽川」河口では、毎年小学生による鮭の稚魚放流が行われるなど、交流を図っている。		
計				42点			

No. 46		椒沢	大仙市大沢郷宿		評価（案）
項 目		配 点	評価点	評価ポイント	写真
景 観		非常に優れている 10点	5点	急峻で狭隘な沢筋と開けた緩傾斜の農地で設定される地域であるが、地域による適正な維持管理が行き届いており、美しい田園風景が眺望できる。休耕・放棄地の発生はないものの、緩傾斜区域が多いことから、景観の評価は「優れている」。	
		優れている 7点			
		普通 5点			
地域住民の活動状況	(1)	集落の半数以上が参加 10点	7点	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「椒沢環境保全会（多面的）」の区域である。集落の3割以上（約33%）が参加し、農地の維持保全を行っている。	
		集落の3割以上が参加 7点			
		その他（3割未満） 5点			
	(2)	5年以上 10点	10点	平成19年より農地・水・環境保全対策制度に取り組み、現在は多面的機能支払交付金による活動を続けている。	
		3年以上 7点			
		その他 5点			
P R ポイント		1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点	20点	地域では大仙市の無形民族文化財「椒沢番楽」を継承しており、毎年8月には豊作を祈願している。	
				地域には新規就農研修施設の研修後に、スキルを活かした花卉（花火ダリア）の栽培を行う農業者もあり、新たな地域農業の展開を図っている。	
				地域では、稲刈り後に昔ながらの稲架掛けを継承しており、稲わらは家畜の敷藁として使われる他、「刈和野の大綱引き」の綱の材料にも使用されている。	
				地域では、県事業「魅力ある里づくりモデル事業」の採択を受け、体験農園や里山の整備、椒沢番楽の新規参加者の受け入れ支援などを実施することとしており、地域のPRと交流人口の拡大を図る取組が期待できる。	
計			42点		

項 目		配 点	評価点	評価ポイント	写真
景 観		非常に優れている 10点 優れている 7点 普通 5点	7点	雄長子内岳と皆瀬川に囲まれた自然豊かな地域であるが、地域による適正な維持管理が行き届いており、美しい景観が眺望できる。休耕・放棄地の発生はなく、景観の評価は「優れている」。	
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数	集落の半数以上が参加 10点	10点	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「京政集落協定（中山間）（多面的）」の区域である。 集落の半数以上（約64%）が参加し農地の維持保全を行っている。	
		集落の3割以上が参加 7点			
		その他（3割未満） 5点			
	(2) 活動の継続年数	5年以上 10点 3年以上 7点 その他 5点	10点	平成18年から中山間地域等直接支払交付金、平成28年から多面的機能支払交付金による活動を続けている。	
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点		15点	地域を貫流する与惣右エ門堰（農業用水路）は、地域農業に恩恵を与えている。また、歴史ある水路であり、岩盤開削など幾多の試練を乗り越え、延長約9km、11年の歳月を経て完成したとされており、地域の大事な資源として歴史の伝承を含め保全している。	
				地域では地元小学校や稲川土地改良区と連携した、小学生との農業体験や与惣右エ門堰の学習会も行っているなど、地域交流も図っている。	
				地域の「高壇稲荷神社」では豊作祈願のために祭典を行い、集落の子供達と恵比寿俵を奉納するなど、伝統文化の保全・継承を図っている。	
計			42点		

No. 48		板戸		湯沢市皆瀬		評価（案）	
項 目		配 点		評価点	評価ポイント	写真	
景 観		非常に優れている	10点	10点	皆瀬側上流部に沿って開けた丘陵地に位置する地域であり、整備済みであるもの急峻な傾斜と整った畦畔のラインが調和し景観が美しい。地域住民により適正に維持管理され休耕・放棄地の発生はなく、景観の評価は「非常に優れている」。		
		優れている	7点				
		普通	5点				
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数	集落の半数以上が参加	10点	10点	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「板戸集落協定（中山間）」の区域である。 集落の半数以上（約61%）が参加し農地の維持保全を行っている。		
		集落の3割以上が参加	7点				
		その他（3割未満）	5点				
	(2) 活動の継続年数	5年以上	10点	10点	平成12年から中山間地域等直接支払交付金による活動を続けている。		
		3年以上	7点				
		その他	5点				
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点		10点	地域では湯沢市の無形民族文化財「板戸番楽」を継承しており、毎年8月には豊作を祈願している。			
				地域住民から信仰を集める奥宮山は、参拝者のほか登山者も多く訪れるなど人気の登山場となっている。 奥宮山山頂からの景色は雄大である。	(写真なし)		
計				40点			

No. 49		貝沼		湯沢市皆瀬		評価（案）	
項 目		配 点		評価点	評価ポイント	写真	
景 観		非常に優れている	10点	10点	皆瀬川を由来とする河岸段丘により耕地が急傾斜となっている地域であるが、適正な維持管理と耕作の継承により美しい景観を有している。休耕・放棄地の発生はなく、景観の評価は「優非常にれている」。		
		優れている	7点				
		普通	5点				
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数	集落の半数以上が参加	10点	10点	本地域は、日本型直接支払制度の活動組織「貝沼集落協定（中山間）（多面的）」の区域である。 集落の半数以上（約90%）が参加し農地の維持保全を行っている。		
		集落の3割以上が参加	7点				
		その他（3割未満）	5点				
	(2) 活動の継続年数	5年以上	10点	10点	平成12年から中山間地域等直接支払交付金、平成27年から多面的機能支払交付金による活動を続けている。		
		3年以上	7点				
		その他	5点				
P R ポイント		1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点		15点	集落の名称ともなった「貝沼」（ため池）は、古くから生活用水や農業用水など、貴重な地域の宝として、現在も大切に守り継がれている。		
					貝沼は、ヘラブナやこいの釣り場として親しまれており多くの釣り人に人気を博している。過去には横手市出身の漫画家である矢口高雄氏の代表作「釣キチ三平」でも掲載されている。		
					平成24年9月のゆざわジオパークの誕生に伴い、ジオポイントの一つとして貝沼が選定されるなど、多面的に注目を集めている。		
計				45点			